

沖縄キリスト教短期大学FD委員会
(編・著)

2013年度 後期

学生による授業評価報告書

巻頭言

第1章 全体的評価

第2章 科目・クラス別評価

総合教育系科目

英語科科目

保育科科目

第3章 自由記述による授業評価

付 録 満足度調査報告

沖縄キリスト教短期大学

沖縄キリスト教短期大学

2013 年度 後期授業評価

沖縄キリスト教短期大学

学長 中原 俊明

2013 年度後期の授業評価がこの報告書としてまとめられたが、貴重な時間とエネルギーを割いてこの課題に取り組んで下さった FD 委員会のメンバーの方々に改めて感謝したい。

授業評価は、student evaluation あるいは student performance evaluation と呼ばれ、1950 年代のアメリカにルーツをもつといわれるが、10 数年前にそれがわが国にも導入された。その背景として、大学の大衆化（劣化）の中で、教員の教育力向上と教育自体の質的向上に資するため、旧来の研究中心の教員の評価に教育力の評価をも加味する仕組みとして広く定着したという。

今回の報告書を通読したが、全体的評価の部分では、授業内容や評価について 9 割以上が正しく理解し、「発展的学習や新たな知識」への興味もほぼ 9 割が肯定している。更に、授業を通じて地域や国際社会への関心が触発されたのが 8 割余に上った。他方、予習復習やフィールドワークの努力では 3 と 4 の評価が、77% と少し下がり、前年度とほぼ同じ傾向がみられる。他方、学習環境への評価の中で、教師の側の授業の進め方のメリハリや理解と興味の引き出し方について 4 と 5 評価が 9 割前後と好反応があったほか、「学んだ達成感」でもほぼ同様の数値として連動している。全体として反応はポジティブといえる。

授業に関する学生たちの自由記述は、多岐にわたるが、目についたものを拾ってみると、聖書や教科書の学びが現代の課題に結びつけられよかったこと（貧困や戦争など）、黒人差別やアパルトヘイト、沖縄の現状や基地問題への理解、アメリカ文学（バッファロービルの詩など）への興味、プレゼンテーションの方法、海外での保育の情報、障がい児への関心、などがあり、よい学びができたのではないかと思った。中には英語でのコメントもあり、「英語のキリ短」らしい印象をもった。なお、欲を言えば、シラバスと実際の授業内容の整合や比較などにもふれてほしかった。

沖縄キリスト教短期大学FD委員会委員（2013年度）

中原 俊 明（委員長・学長）
大山 伸 子（委員・短期大学部長）
作 田 真由子（委員・英語科長）
喜舎場 勤 子（委員・保育科長）
張 本 文 昭（委員・総合教育系主任）
金城 繁 正（委員・企画推進課長代行）

執筆者

仲 座 栄利子（英語科）
赤 嶺 優 子（保育科）
内 間 清 晴（総合教育系）

以上

第 1 章

全体の評価

はじめに

2013年度後期の授業評価アンケートを、2014年1月（当該学期末に近い時期）に実施し、86科目、182クラスについて分析を行った。分析に投与された評価表は、3569件であった。評価は5段階法を採用しており、1点を最低、5点を最高の評価としている（質問項目9は2段階法）。

本章では、「Ⅰ 学習態度の自己評価」および「Ⅱ 学習環境の評価」についての全体的な傾向を示す。

1 各設問に対する結果

以下に、「Ⅰ 学習態度の自己評価」に関する結果に対して若干の解説、解釈を述べる。各設問に対する数量的な結果については、後に度数分布表および棒グラフとして示す。

Q1 「初回のオリエンテーションを聞き、授業の概要や目的、成績評価の方法などについて正しく理解していた」

評価の平均は、4.59であり、「5」評価が67.6%、「4」評価の24.0%を加えると91.6%であった。前期より「5」評価が多くなり、教員の授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解されているものと考えられる。

Q2 「私語や携帯電話の使用など、授業を乱す行為をしなかった」

評価の平均は、4.53であり、「5」評価が64.3%、「4」評価の25.8%を加えると約90.1%であったことから、前期より概ね受講マナーは守られているものと思われる。

Q3 「この授業をきっかけに、発展的な学習や新しい知識に興味を沸いた」

評価の平均は、4.54であり、「5」評価が65.1%、「4」評価の25.2%を加えると90.3%であったことから、前期より授業が新たな学びへの動機付けとなっていたことが考えられる。

Q4 「この授業に、積極的に参加した」

評価の平均は、4.48であり、「5」評価が61.0%であり、「4」評価の26.7%を加えると87.7%であったことから、前期より積極的に参加する学生が多くなっている。

Q5 「授業時間以外にも、授業の準備や課題を行うなど、計画的に学習に取り組んだ」

評価の平均は、4.33であり、「5」評価が53.3%、「4」評価が29.5%を加えると82.8%である。平均と「5」評価が多くなっており、前期より計画的に学習に取り組んでいるものと考えられる。

Q6 「この授業を通して、地域および国際社会の事情に、より関心を持つようになった」

評価の平均は、4.36 であり、「5」評価が 55.3%、「4」評価が 27.5%を加えると 82.8%である。平均と「5」の評価が多くなり、前期より、地域および国際社会の事情に関心をもつようになっているものと考ええる。

Q7 「この授業の予習・復習または準備・フィードバックを自主的に行った」

評価の平均は、4.21 であり、「5」評価が 48.1%、「4」評価が 28.9%を加えると 77.0%である。平均と「5」の評価が多くなっており、準備・フィードバックを自主的に行なっているものと考ええる。

Q8 「この授業での遅刻はなかった」

評価の平均は、4.53 であり、「5」評価が 73.5%、「4」評価が 13.3%を加えると 86.8%である。前期より平均と「5」の評価が少くなっており、授業に遅刻をする学生が増えている。

Q9 「この授業での欠席回数を把握している」

評価の平均は、0.79 であり、「はい」の評価が 52.1%、「いいえ」の評価が 23.6%であり、平均と「いいえ」の評価が多くなっており、前期に比べて欠席回数は、把握されていないものと考えられる。

以上が「Ⅰ 学習態度の自己評価」に関する項目である。続いて「Ⅱ 学習環境の評価」に関して結果を述べる。

Q10 「授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった」

評価の平均は、4.55 であり、「5」評価が 67.1%、「4」評価が 22.6%を加えると 90.1%である。前期より、平均と「5」が多くなっており、質問する機会や工夫があったものと考ええる。

Q11 「授業の開始・終了時間は適切であった」

評価の平均は、4.67 であり、「5」評価が 74.3%、「4」評価が 19.2%を加えると 93.5%である。前期より、平均が 0.01、「5」が 0.09 少なくなっている。

Q12 「授業の進め方にメリハリ（声の大小・説明内容等）があった」

評価の平均は、4.62 であり、「5」評価が 72.5%、「4」評価が 19.0%を加えると 91.5%である。前期より、平均と「5」評価が多くなっており、授業の進め方にメリハリが見られたものと考ええる。

Q13 「理解や興味を引き出すよう工夫されていた」

評価の平均は、4.57 であり、「5」評価が 69.6%、「4」評価が 20.2%を加えると 89.8%である。前期より平均と「5」評価が多くなっており、理解や興味を引き出すような工夫がされているものと考ええる。

Q14 「教員としての相応しくない発言や態度はなかった」

評価の平均は、4.67 であり、「5」評価が 75.3%、「4」評価が 17.3%を加えると 92.6%である。前期より平均と「4」評価が多くなっており、相応しくない発言や態度は改善されているものと考ええる。

Q15 「受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた」

評価の平均は、4.55 であり、「5」評価が 67.0%、「4」評価が 22.8%を加えると 89.8%である。前期より、平均と「5」評価が多くなっており、学習環境や受講生のマナーが保たれているものと考ええる。

Q16 「教科書や配付資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていた」

評価の平均は、4.61 であり、「5」評価が 71.4%、「4」評価が 19.3%を加えると 90.7%である。前期より、平均と「5」評価が多くなっており、資料や教材、パソコン等が有効に使われているものと考ええる。

Q17 「授業の進度は、適切であった」

評価の平均は、4.64 であり、「5」評価が 73.8%、「4」評価が 17.7%を加えると 91.5%である。前期より、平均と「5」が多くなっており、概ね授業の進度は、適切であったと考える。

Q18 「学んだという達成感が得られた」

評価の平均は、4.60 であり、「5」評価が 71.9%、「4」評価が 18.9%を加えると 90.8%である。前期より平均と「5」が多くなっており、学んだという達成感が得られているものと考ええる。

1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	6	.2	.2	.2
2	35	1.0	1.0	1.2
3	244	6.8	6.9	8.1
4	857	24.0	24.1	32.2
5	2414	67.6	67.9	100.1
合計	3556	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	13	.4		
合計	3569	100.0		

2. 授業を乱す行為をしない

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	11	.3	.3	.3
2	35	1.0	1.0	1.3
3	295	8.3	8.3	9.6
4	921	25.8	25.9	35.5
5	2295	64.3	64.5	100.0
合計	3557	99.7	100.0	
欠損値 システム欠損値	12	.3		
合計	3569	100.0		

3. 発展的な学習や新しい知識への興味

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	16	.4	.4	.4
	2	42	1.2	1.2	1.6
	3	275	7.7	7.7	9.3
	4	900	25.2	25.3	34.6
	5	2323	65.1	65.3	99.9
	合計	3556	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	13	.4		
合計		3569	100.0		

4. 積極的な参加

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	2	.1	.1	.1
	2	47	1.3	1.3	1.4
	3	377	10.6	10.6	12.0
	4	953	26.7	26.8	38.8
	5	2176	61.0	61.2	100.0
	合計	3555	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	14	.4		
合計		3569	100.0		

5. 計画的な学習への取り組み

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	16	.4	.5	.5
	2	97	2.7	2.7	3.2
	3	485	13.6	13.6	16.8
	4	1053	29.5	29.6	46.4
	5	1904	53.3	53.6	100.0
	合計	3555	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	14	.4		
合計		3569	100.0		

6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	20	.6	.6	.6
	2	69	1.9	1.9	2.5
	3	512	14.3	14.4	16.9
	4	981	27.5	27.6	44.5
	5	1975	55.3	55.6	100.1
	合計	3557	99.7	100.1	
欠損値	システム欠損値	12	.3		
合計		3569	100.0		

7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	21	.6	.6	.6
	2	136	3.8	3.8	4.4
	3	645	18.1	18.1	22.5
	4	1033	28.9	29.1	51.6
	5	1718	48.1	48.3	99.9
	合計	3553	99.6	99.9	
欠損値	システム欠損値	16	.4		
合計		3569	100.0		

8. 遅刻はない

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	100	2.8	2.8	2.8
	2	106	3.0	3.0	5.8
	3	238	6.7	6.7	12.5
	4	473	13.3	13.3	25.8
	5	2624	73.5	73.8	99.6
	合計	3541	99.2	99.6	
欠損値	システム欠損値	28	.8		
合計		3569	100.0		

9. 欠席回数の把握

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	1859	52.1	52.3	52.3
	2	843	23.6	23.7	76.0
	合計	2702	75.7	76.0	
欠損値	システム欠損値	867	24.3		
合計		3569	100.0		

10. 授業中の質問する機会や工夫

		度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効	1	15	.4	.4	.4
	2	47	1.3	1.3	1.7
	3	289	8.1	8.1	9.8
	4	808	22.6	22.7	32.5
	5	2395	67.1	67.4	99.9
	合計	3554	99.6	100.0	
欠損値	システム欠損値	15	.4		
合計		3569	100.0		

11. 適切な授業の開始・終了時間

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	10	.3	.3	.3
2	19	.5	.5	.8
3	190	5.3	5.3	6.1
4	685	19.2	19.3	25.4
5	2650	74.3	74.5	99.9
合計	3554	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	15	.4		
合計	3569	100.0		

12. メリハリのある授業の進め方

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	17	.5	.5	.5
2	51	1.4	1.4	1.9
3	221	6.2	6.2	8.1
4	677	19.0	19.0	27.1
5	2587	72.5	72.8	99.9
合計	3553	99.6	99.9	
欠損値 システム欠損値	16	.4		
合計	3569	100.0		

13. 理解や興味を引き出す工夫

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	25	.7	.7	.7
2	59	1.7	1.7	2.4
3	263	7.4	7.4	9.8
4	720	20.2	20.3	30.1
5	2483	69.6	69.8	99.9
合計	3550	99.5	99.9	
欠損値 システム欠損値	19	.5		
合計	3569	100.0		

14. 教員としての相応しい発言や態度

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	17	.5	.5	.5
2	32	.9	.9	1.4
3	198	5.5	5.6	7.0
4	617	17.3	17.4	24.4
5	2689	75.3	75.6	100.0
合計	3553	99.6	99.9	
欠損値 システム欠損値	16	.4		
合計	3569	100.0		

15. 学習環境、受講生のマナーの維持

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	12	.3	.3	.3
2	48	1.3	1.4	1.7
3	288	8.1	8.1	9.8
4	815	22.8	22.9	32.7
5	2390	67.0	67.2	99.9
合計	3553	99.6	99.9	
欠損値 システム欠損値	16	.4		
合計	3569	100.0		

16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用

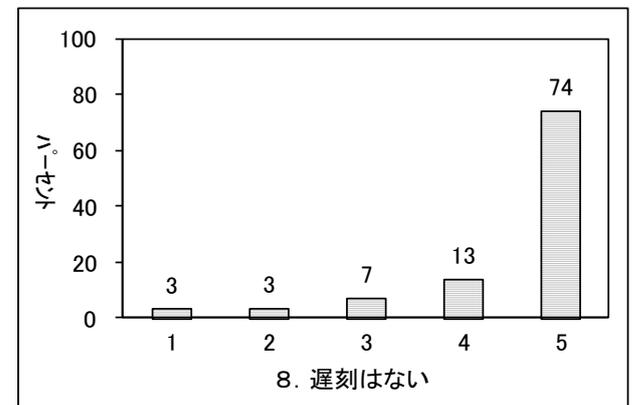
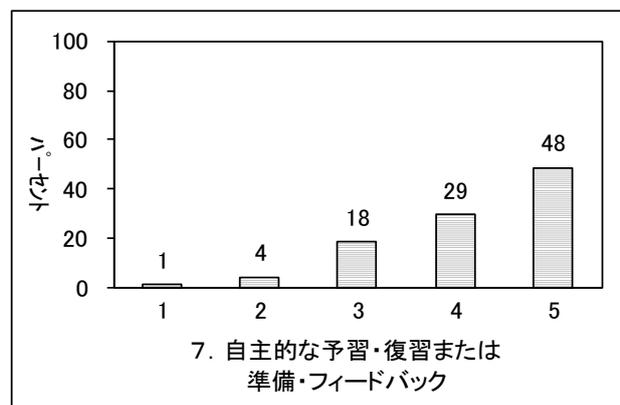
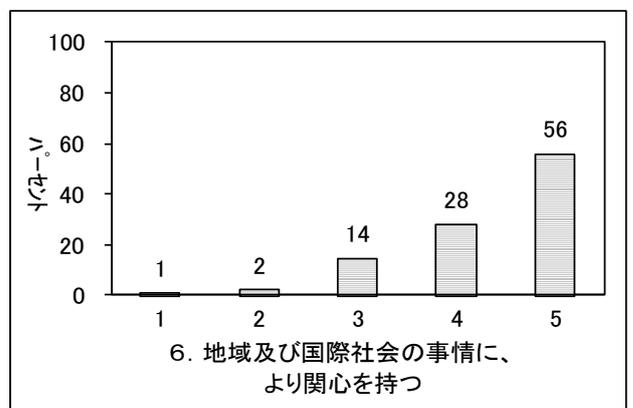
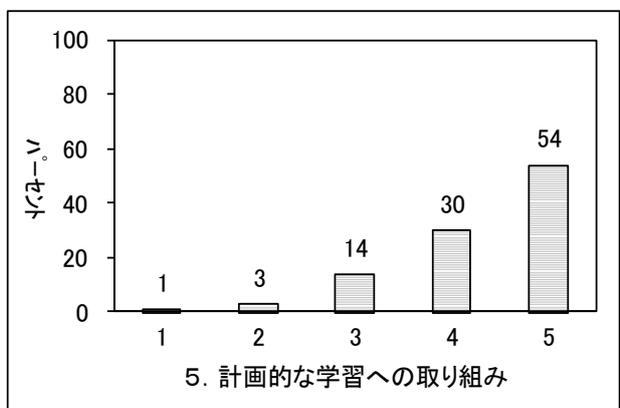
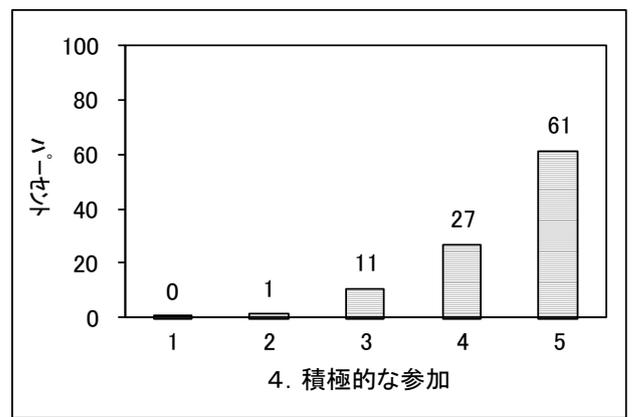
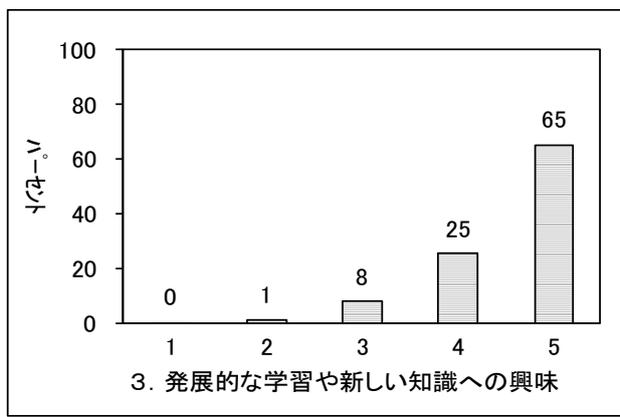
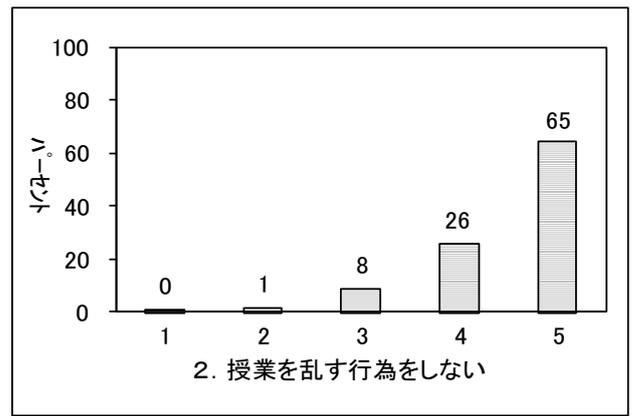
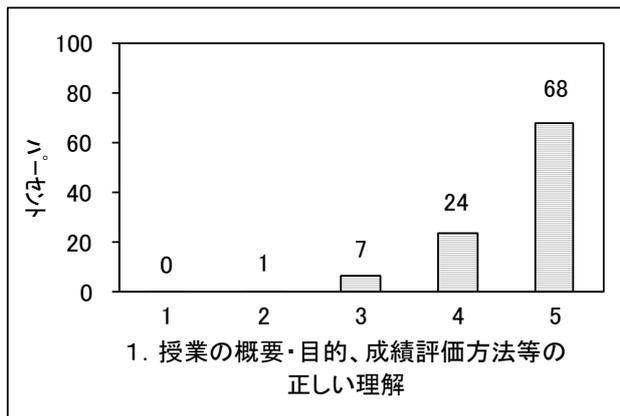
	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	11	.3	.3	.3
2	28	.8	.8	1.1
3	278	7.8	7.8	8.9
4	688	19.3	19.4	28.3
5	2547	71.4	71.6	99.9
合計	3552	99.5	99.9	
欠損値 システム欠損値	17	.5		
合計	3569	100.0		

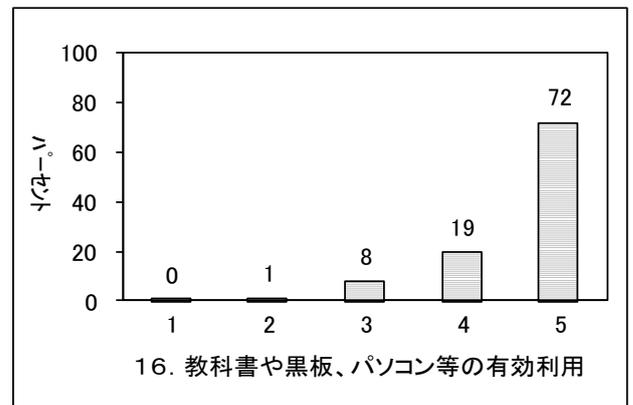
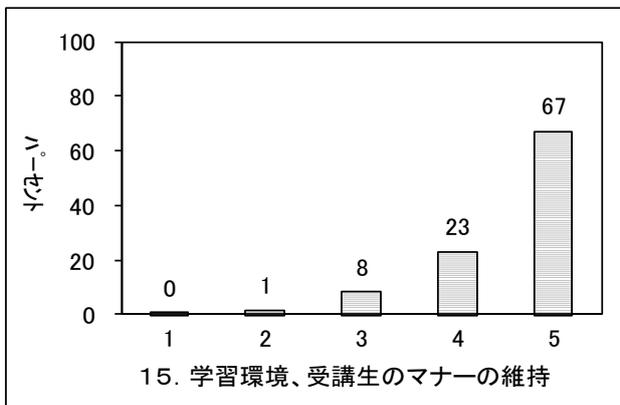
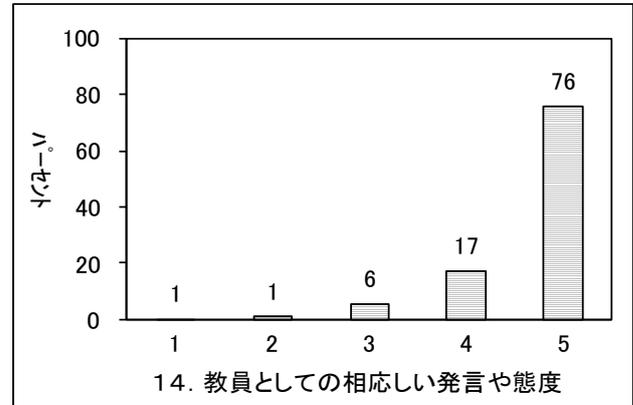
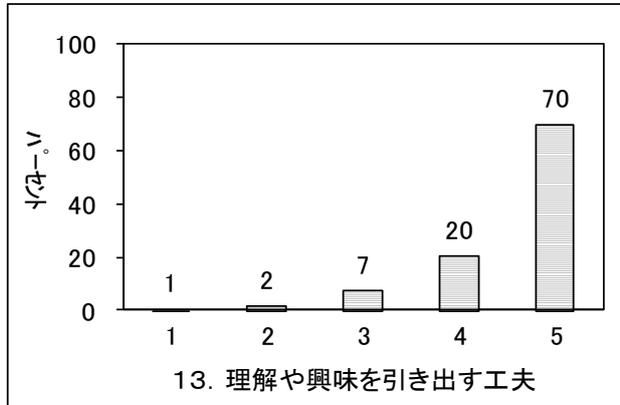
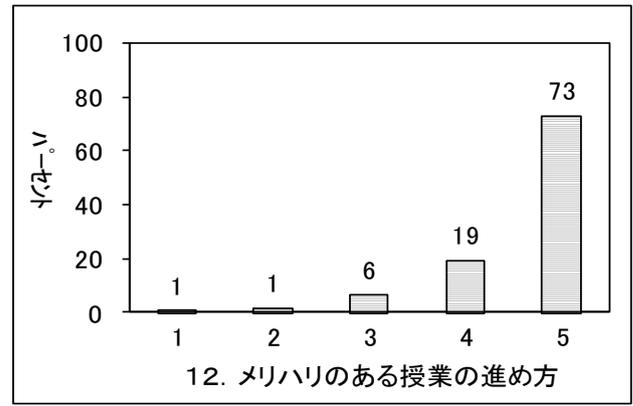
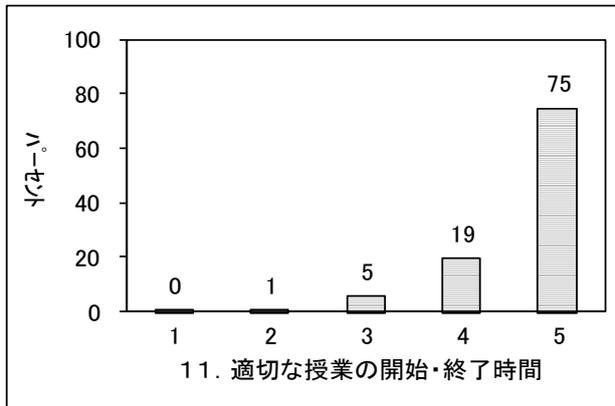
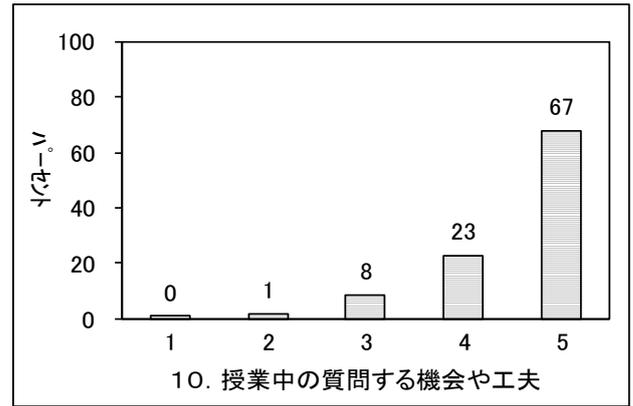
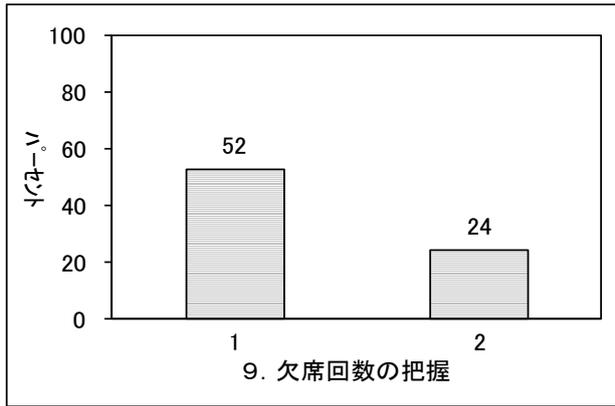
17. 適切な授業の進度

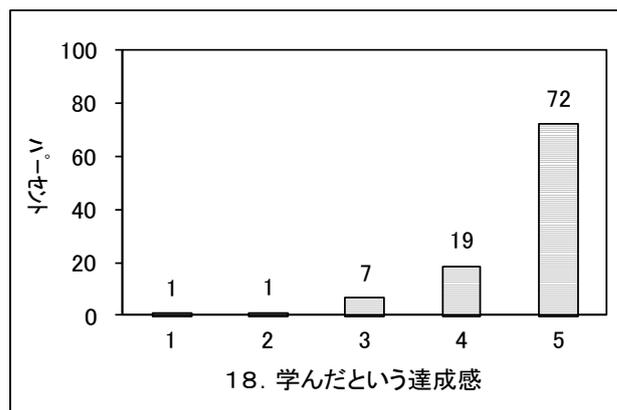
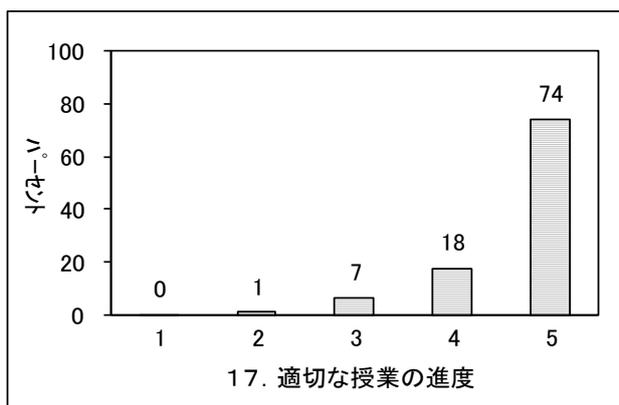
	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	13	.4	.4	.4
2	40	1.1	1.1	1.5
3	235	6.6	6.6	8.1
4	632	17.7	17.8	25.9
5	2635	73.8	74.1	100.0
合計	3555	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	14	.4		
合計	3569	100.0		

18. 学んだという達成感

	度数	パーセント	有効 パーセント	累積 パーセント
有効 1	31	.9	.9	.9
2	42	1.2	1.2	2.1
3	241	6.8	6.8	8.9
4	673	18.9	18.9	27.8
5	2567	71.9	72.2	100.0
合計	3554	99.6	100.0	
欠損値 システム欠損値	15	.4		
合計	3569	100.0		







2 全体の評定結果

5段階評価に対する18項目中17項目の平均値は、4.21を超え学生は、概ね自らの学習態度および、大学が提供する学習環境に対して、肯定的に評価していると捉えて良いだろう。

回答のばらつきを示す標準偏差の結果については、いくつかの質問において、個人間、また、授業間で差があるものと思われた。

▼ 全学科

		記述統計量 ^a					平均値	標準偏差	
		度数	5	4	3	2	1		
I 学習態度の自己評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	3556	2414	857	244	35	6	4.59	.678
	2. 授業を乱す行為をしない	3557	2295	921	295	35	11	4.53	.715
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	3556	2323	900	275	42	16	4.54	.727
	4. 積極的な参加	3555	2176	953	377	47	2	4.48	.740
	5. 計画的な学習への取り組み	3555	1904	1053	485	97	16	4.33	.844
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	3557	1975	981	512	69	20	4.36	.837
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	3553	1718	1033	645	136	21	4.21	.910
	8. 遅刻はない	3541	2624	473	238	106	100	4.53	.950
	9. 欠席回数の把握	2702	-	-	-	843	1859	.79	.463
II 学習環境の評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	3554	2395	808	289	47	15	4.55	.735
	11. 適切な授業の開始・終了時間	3554	2650	685	190	19	10	4.67	.627
	12. メリハリのある授業の進め方	3553	2587	677	221	51	17	4.62	.709
	13. 理解や興味を引き出す工夫	3550	2483	720	263	59	25	4.57	.760
	14. 教員としての相応しい発言や態度	3553	2689	617	198	32	17	4.67	.667
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	3553	2390	815	288	48	12	4.55	.729
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	3552	2547	688	278	28	11	4.61	.692
	17. 適切な授業の進度	3555	2635	632	235	40	13	4.64	.688
	18. 学んだという達成感	3554	2567	673	241	42	31	4.60	.742

※問9は、1=「はい」の回答数、2=「いいえ」の回答数、平均値=欠席回数の平均値を示す。

3 学科ごとの評定結果

3.1 総合教育系の評定結果

1. 学習態度の自己評価では約半分の項目で平均値が 4.5 であり、良いと思われるが、項目 7 の自主的な予習・復習または準備・フィードバックが他の項目と比較して低い値となっており、学生達のより積極的な授業への取り組みが必要である。
2. II の学習環境の評価では殆どの項目が 4.5 以上であり、学習環境には満足していると考えられる。

▼ 総合教育系

		記述統計量 ^a						平均値	標準偏差
		度数	5	4	3	2	1		
I 学習態度の自己評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	690	484	150	46	6	4	4.60	.704
	2. 授業を乱す行為をしない	690	458	187	43	2	0	4.60	.619
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	690	433	194	45	11	7	4.50	.774
	4. 積極的な参加	688	420	196	61	11	0	4.49	.724
	5. 計画的な学習への取り組み	690	364	207	96	20	3	4.32	.850
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	690	368	197	98	21	6	4.30	.885
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	690	316	198	139	28	9	4.14	.960
	8. 遅刻はない	687	544	84	40	8	11	4.66	.777
	9. 欠席回数の把握	524	-	-	-	154	370	.71	.456
II 学習環境の評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	688	410	182	71	16	9	4.41	.863
	11. 適切な授業の開始・終了時間	688	501	139	38	7	3	4.64	.675
	12. メリハリのある授業の進め方	688	494	138	31	16	9	4.59	.794
	13. 理解や興味を引き出す工夫	687	466	151	47	15	8	4.53	.811
	14. 教員としての相応しい発言や態度	688	493	136	43	10	6	4.60	.747
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	689	459	166	50	10	4	4.55	.742
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	689	493	127	62	3	4	4.60	.719
	17. 適切な授業の進度	689	501	118	52	12	6	4.59	.776
	18. 学んだという達成感	689	483	136	43	12	15	4.54	.860

※問9は、1=「はい」の回答数、2=「いいえ」の回答数、平均値=欠席回数の平均値を示す。

3.2 英語科の評定結果

1. 学習態度の自己評価では殆どの項目で平均値が 4.1 以上であり、良いと思われるが、項目 7 の自主的な予習・復習または準備・フィードバックが他の項目と比較して低い値となっており、学生達のより積極的な授業への取り組みが必要である。
2. II の学習環境の評価では殆どの項目が 4.5 以上であり、学習環境には満足していると考えられる。

▼ 英語科

記述統計量^a

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度 の自己 評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	863	593	186	71	12	1	4.57	.712
	2. 授業を乱す行為をしない	864	541	204	100	17	2	4.46	.792
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	863	554	199	91	15	4	4.49	.788
	4. 積極的な参加	864	512	213	124	14	1	4.41	.801
	5. 計画的な学習への取り組み	864	456	250	128	26	4	4.31	.863
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	864	494	209	138	18	5	4.35	.862
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	862	415	234	174	38	1	4.19	.914
	8. 遅刻はない	864	528	139	99	53	45	4.22	1.181
	9. 欠席回数の把握	634	-	-	-	298	336	1.67	.499
II 学習 環境 の 評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	864	589	176	79	17	3	4.54	.769
	11. 適切な授業の開始・終了時間	864	662	143	48	8	3	4.68	.653
	12. メリハリのある授業の進め方	864	623	160	59	17	5	4.60	.752
	13. 理解や興味を引き出す工夫	863	587	169	76	23	8	4.51	.835
	14. 教員としての相応しい発言や態度	864	651	143	54	11	5	4.65	.707
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	864	593	184	73	11	3	4.57	.730
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	863	615	157	78	11	2	4.59	.726
	17. 適切な授業の進度	864	643	144	59	16	2	4.63	.713
	18. 学んだという達成感	864	587	172	81	14	10	4.52	.821

※問9は、1=「はい」の回答数、2=「いいえ」の回答数、平均値=欠席回数の平均値を示す。

3.3 保育科の評定結果

1. 学習態度の自己評価では約半分の項目で平均値が 4.5 であり、良いと思われるが、項目 7 の自主的な予習・復習または準備・フィードバックが他の項目と比較して低い値となっており、学生達のより積極的な授業への取り組みが必要である。
2. II の学習環境の評価では殆どの項目が 4.55 以上であり、学習環境には満足していると考えられる。

▼ 保育科

記述統計量^a

		度数	5	4	3	2	1	平均値	標準偏差
I 学習態度 の自己 評価	1. 授業の概要・目的、成績評価方法等の正しい理解	2003	1337	521	127	17	1	4.59	.653
	2. 授業を乱す行為をしない	2003	1296	530	152	16	9	4.54	.709
	3. 発展的な学習や新しい知識への興味	2003	1336	507	139	16	5	4.57	.679
	4. 積極的な参加	2003	1244	544	192	22	1	4.50	.717
	5. 計画的な学習への取り組み	2001	1084	596	261	51	9	4.35	.833
	6. 地域及び国際社会の事情に、より関心を持つ	2003	1113	575	276	30	9	4.37	.809
	7. 自主的な予習・復習または準備・フィードバック	2001	987	601	332	70	11	4.24	.889
	8. 遅刻はない	1990	1552	250	99	45	44	4.62	.858
	9. 欠席回数把握	1544	-	-	-	391	1153	.52	.435
II 学習 環境 の 評価	10. 授業中の質問する機会や工夫	2002	1396	450	139	14	3	4.61	.661
	11. 適切な授業の開始・終了時間	2002	1487	403	104	4	4	4.68	.598
	12. メリハリのある授業の進め方	2001	1470	379	131	18	3	4.65	.657
	13. 理解や興味を引き出す工夫	2000	1430	400	140	21	9	4.61	.704
	14. 教員としての相応しい発言や態度	2001	1545	338	101	11	6	4.70	.616
	15. 学習環境、受講生のマナーの維持	2000	1338	465	165	27	5	4.55	.724
	16. 教科書や黒板、パソコン等の有効利用	2000	1439	404	138	14	5	4.63	.666
	17. 適切な授業の進度	2002	1491	370	124	12	5	4.66	.643
	18. 学んだという達成感	2001	1497	365	117	16	6	4.66	.651

※問9は、1=「はい」の回答数、2=「いいえ」の回答数、平均値=欠席回数の平均値を示す。

4 自由記述による評価

4.1 総合教育系の授業について

評言全体を通して、言えることは、学生達が興味・関心を持てるような工夫した授業を行っている。学生達は概ね講義内容に満足しており、楽しく学べ、とても為になり、良かったという記述が多い。教員達が丁寧で学生達を大切にしている講義が多く、学生と教師間で良き信頼関係が構築されていると思われる。

学生からの良くない記述としては下記の通りであり、授業内容の改善や適切なクラスの人数にすることが望まれる。

- (1) 授業科目名とはそぐわない授業内容があること。
- (2) 授業内容が良く分からない、何の授業か分からない。
- (3) クラスの受講者人数が多すぎて、質問しづらい等、受講者人数を減らすことを望まれる授業がある。

4.2 英語科の授業について

評定結果にも現れているとおり、担当教員の熱意や授業運営に関する工夫に対しては「授業の良い点」を挙げている学生が多い。

学生からの良くない記述としては下記の通りである。

- (1) 黒板を使用してほしい。
- (2) 授業内容が良く分からない。

4.3 保育科の授業について

学生達が興味・関心を持てるような工夫した授業を行っている。学生達は概ね授業内容に満足していると思われる。社会の現状を知ることができた。知識が深まったなどの記述がみられる。この授業の良い点においては、「ディスカッションが多くあり、他の学生と意見交換ができて良かった」「ビデオやプリントなどの工夫がされていて良かった」を挙げている。

学生からの良くない記述としては下記のとおりである。

- (1) 声が小さい。
- (2) 授業内容が良く分からない。

おわりに

全体的に、教員達は学生達に興味や関心を持てるような授業内容を工夫しており、概ね授業に満足していると思われる。また、一人一人の学生を大切にした授業への取みを意識しており、学生と教師間で良き信頼関係が構築されていると思われる。また、学生たちの自己評価において、予習・復習・フィードバックの項目は、前期と比較すると数値は上がっているものの、授業が良く分からない記述もみられた。そのような学生たちの対応策が必要と思われる。

学生による授業評価について

調査期間：前期7月／後期1月

調査対象：全クラス

学生の皆さんへ

この調査は、本学の教育活動を充実・改善するための基礎資料を得るために、全クラスについて実施されるものです。なお、この調査データはコンピュータにより統計処理され、担当教員に個々の生データを閲覧させることはなく、「成績」に影響を及ぼすようなこともありません。また、プライバシー保護については十分留意しますので、率直かつ真摯な評価をお願いします。(学籍番号の記入欄は、学生が自分の意見に責任をもって記述してもらうために設けています。ただし、個人を特定するものではありません。)

沖縄キリスト教短期大学FD委員会委員長

沖縄キリスト教短期大学学長

この授業評価アンケートは、大きく3つの項目に分かれています。

「Ⅰ. 学習態度の自己評価」について

ここでは、学生の皆さんに、この授業で自分の学習態度はどのようなものであったかを自己評価していただきます。この項目の目的は、学生の皆さんが「自律学習者」(自分の学習を自分の立てた規律や計画に従って積極的に行う者)として、それぞれの授業にどう向き合ったかを振り返っていただくとともに、その自己評価を今後の学習に活かしていただくことです。

「Ⅱ. 学習環境の評価」について

学生の皆さんが授業を受ける際に、適切な学習環境が提供されていたかどうかをお聞きます。本短期大学と担当教員は皆さんからの評価を参考にし、より良い学習環境の提供に努めたいと思っています。

「Ⅲ. 改善のための提言」について

本短期大学と担当教員は、より良い学習環境の提供のため、改善するべき点があればそれを明らかにしたいと思っています。受講生としての立場から気付いたことを、自由に記述してください。

※記入終了後、指名された学生が回収します。 提出先：教務課

科目名		クラス名		性別	男	女
所属学科	1. 英語科	2. 保育科	3. 科目等履修生	学年	1年	2年
学籍番号	※差し支えなければ学籍番号を記入してください。					

(裏のページへ進んでください⇒)

沖縄キリスト教短期大学

< I 及びIIの評価方法 >

・設問1～8、10～18は、評価欄のあてはまる数字（1～5）に○をつけてください。

評価基準：5 とても良く当てはまる 4 当てはまる 3 どちらともいえない 2 あまり当てはまらない 1 全く当てはまらない

・設問9は、「はい」の場合、該当する数字を（ ）内に記入してください。

I. 学習態度の自己評価

	評 価 欄				
1. 初回のオリエンテーションを聞き、授業の概要や目的、成績評価の方法などについて正しく理解していた。	5	4	3	2	1
2. 私語や携帯電話の使用など、授業を乱す行為をしなかった。	5	4	3	2	1
3. この授業をきっかけに、発展的な学習や新しい知識に興味を湧いた。	5	4	3	2	1
4. この授業に、積極的に参加した。	5	4	3	2	1
5. 授業時間以外にも、授業の準備や課題を行うなど、計画的に学習に取り組んだ。	5	4	3	2	1
6. この授業を通して、地域及び国際社会の事情に、より関心を持つようになった。	5	4	3	2	1
7. この授業の予習・復習または準備・フィードバックを自主的に行った。	5	4	3	2	1
8. この授業での遅刻はなかった。	5	4	3	2	1
9. この授業での欠席回数を把握している。	はい（ ）回				いいえ

II 学習環境の評価

	評 価 欄				
10. 授業中、分からないことや理解できなかったことを質問する機会や工夫があった。	5	4	3	2	1
11. 授業の開始・終了時間は適切であった。	5	4	3	2	1
12. 授業の進め方にメリハリ（声の大小、説明内容等）があった。	5	4	3	2	1
13. 理解や興味を引き出すよう工夫されていた。	5	4	3	2	1
14. 教員として相応しい発言や態度であった。	5	4	3	2	1
15. 受講するための十分な学習環境、受講生のマナーが保たれていた。	5	4	3	2	1
16. 教科書や配布資料、その他教材、黒板やパソコン等が有効に使われていた。	5	4	3	2	1
17. 授業の進度は、適切であった。	5	4	3	2	1
18. 学んだという達成感が得られた。	5	4	3	2	1

III 改善のための提言

この授業を振り返り、学習環境（担当教員も含む）の良かった点・改善点を提言してください。（自由記述）

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

ご協力ありがとうございました。